

# 高尾山が泣いている

## 立ち止まって考え直そう

高尾山が泣いています。

この山の千数百年の歴史をくつがえすようなことがいま、起こりつつあるからです。

高尾山を高尾山たらしめている霊気は消えてしまおうのでしょうか。

国定公園を国定公園たらしめている「森の静穏」はどうなるのでしょうか。

高尾山が泣いているのは、国と道路公団が圏央道という高速道路を通そうとしているからです。山の中腹をトンネルで貫く計画が実現すれば、高尾山が高尾山でなくなってしまうことを知っているからです。

山の周辺にコンクリートの巨大なジャンクション、橋脚、高架道が押し寄せ、さらにトンネルができれば、のびやかな景観は一変します。騒音が響き、風が汚れます。トンネル工事が地下水に影響し、修行の場の滝水を涸らす恐れもあります。

高尾山は霊気にみちた山です。

ふしぎなことに、高尾を歩くとカサカサに乾いた心がうるおい、慈悲の心を取りもどせるという人がいます。年間二百万を超える人がやすらぎを求め、風の声を求め、生きる力を求めてここを訪ねます。

高尾山は聖なる森として守られてきました。プナもスミシムササビもミミズも「殺生禁断」の教えによって快適に生きてきました。圏央道はお先祖さまの贈りものを破壊することになります。

かりに竜安寺の石庭の真ん中にコンクリート道路を造る話があれば、皆さんはそのおろかさにあきれられるでしょう。一本の道路が石庭の幽玄性を壊すように、一本の圏央道は高尾山の静穏を壊します。しかも国定公園を守る立場の国が自分の手で破壊をすすめていることに私たちは恐ろしさをさえ感じています。

「高速」よりも「静穏」を。

それが時代の声です。「森の静穏」を「高速」のために壊す。それは文化の破壊でもあります。「高尾山に圏央道を通すな」という訴えに賛成の方は、ぜひ声をお寄せ下さい。皆さんの思いこそが運動の力になります。

●呼びかけ人 ▼高尾山は八八歳の私にとって大切な思い出の山なんです。山を昔のままにしておいていただきたいと思っております。秋山ちえ子 ▼自然は人間の親です。命を生み出す源泉です。親に背いていいのですか？池辺晋一郎 ▼井上ひさし ▼立ち止まって考え直そうの考えに全く共感します。色川大吉 ▼大賛成です。がんばって下さい。梅原猛 ▼日本の富士山が実は汚れた山であることは恥ずかしい。東京の高尾山をそんな恥ずかしい山にしないで下さい。永六輔 ▼本当の静穏(そこからこそ本当の文化が生まれる)の意味を、高尾山を登りながらつくづく感じた記憶が今も鮮やかです。木下順一 ▼以前よく出掛けたところで、多くの、この山を好む人たちがよって、やさしい気持ちで守りたいと思っています。串田孫一 ▼椎名誠 ▼ご先祖さまが守ってくれた希有の宝物を私たちも守り、子や孫や未来の人たちに託す。これがまっとうな人の道でしょう。辰瀬和男 ▼高尾山は都民にとってオアシスであり、心のよりどころです。無傷の高尾山を残すことは、いまに生きる私たちの責務です。橋本良仁 ▼日本人の心の通い道、東海自然歩道の入口に、高速道路は不要です。原則 ▼私は大のスミシ好きで、この運動を一番よるこんでいるのは高尾山のスミシたちだと思っています。高尾山を泣かせてはいけないと思っています。増田れい子 ▼山本コウタロー

●私たちも賛同します 青山貞一・新井満・嵐圭史・いいたもも・池田清彦・池田龍雄・石川弘義・石田幸彦・泉邦彦・井関和彦・磯野有秀・磯野弥生・磯村英樹・板井優・いたよう・市川利美・市川秀雄・市川守弘・岩田進午・江成常夫・大島文雄・大木昭男・太田愛人・太田克彦・大谷昭宏・大浜清・大林宣彦・大和田一祐・岡田幹治・小川和隆・小川潔・奥井登美子・長田弘・小山内美江子・尾崎俊之・小澤勝美・小沢昭一・加賀谷昭・籠橋隆明・加藤幸子・上岡直見・上至一郎・川田龍平・木下安子・豊田隆史・樽園男・栗田直・黒川宣之・黒田杏子・小池信太郎・古世古和子・小林カツ代・こばやしひろし・小森長生・近藤創・金光威和雄・今野鶏三・早乙女勝元・酒井喜久子・坂巻幸雄・坂本孝・坂本龍彦・柴田哲夫・柴田鉄治・柴田徳衛・清水鳩子・清水誠・横博重・下重鏡子・十葦駿武・白旗史朗・鈴木進・鈴木真博・鈴木久夫・鈴木瑞穂・諏訪正人・関島保雄・瀬戸島之・高柳俊輔・竹内壮一・竹西寛子・武山健二郎・建部由美子・依朋子・角田房子・鶴見祐策・寺島アキ子・陣坂淑子・中村方子・中村美代子・永山利和・西原司・西村弘・野呂汎・羽田澄子・浜林正夫・早瀬圭一・人見勇三・廣井敏男・深沢洋子・藤田敬夫・前田昌明・松平寛・馬奈木昭雄・三上満・三田和代・峰岸純夫・宮本和郎・宮本憲一・本谷勲・八木健三・山口昭男・山口義夫・山田洋次・山村恒年・山本亘・養老孟司・吉田健一・吉原孝利・吉山寛・渡辺俊明・渡辺誠・渡辺昌子 (五〇音順敬称略)

意見広告

